



る う て る

2014年
5月
No.804

●発行所■
日本福音ルーテル教会事務局広報室
〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町1-1
電話 03-3260-8631

●振替口座■ 00190-7-71734
●ウェブサイト■ <http://www.jelc.or.jp>
●E-mail■ jelc@jelc.or.jp
●発行人■ 徳野昌博 mtokuno@jelc.or.jp
●印刷人■ 精文堂印刷株式会社
●定価 ■ 1部 40円 (郵税を含む)

説教 「遅れてきた夜明け」

室園教会牧師 西川 晶子

「十二人の一人でディレイモと呼ばれるトマスは、イエスが来られたとき、彼らと一緒にいなかった。そこで、ほかの弟子たちが、「わたしたちは主を見た」と言う。トマスは言った。『あの方の手に釘の跡を見、この指を釘跡に入れてみなければ、また、この手をそのわき腹に入れてみなければ、わたしは決して信じない』ヨハネによる福音書20章25節

十二弟子のひとりトマス 「見ないのに信じる人々は幸いだ」(29節)とあるように、来事から、「疑いのトマス」という不名誉な称号で呼ばれることがあります。しかし、中学校の授業などで弟子の話をするとき、このトマスは人気のある一人です。心身ともに多感な成長期を迎えている彼ら、彼女らにとって、このトマスの「疑い」は非常に共感しやすく、「疑ってもよいのだ」と安心できるでしょう。実際、このトマスは、後にイエス様の彼に対する言葉の中に

「見ないのに信じる人々は幸いだ」…これは逆に、見えないもの、見たことがないものを信じるのがどんなに難しいことを表しています。ましてや、トマスは自分一人だけ、主イエスの復活に居合わせる事ができなかったのです。

「見ないのに信じる人々は幸いだ」…これは逆に、見えないもの、見たことがないものを信じるのがどんなに難しいことを表しています。ましてや、トマスは自分一人だけ、主イエスの復活に居合わせる事ができなかったのです。このトマスはもともとかなり熱心な弟子であり、十字架の前から逃げ去った



残されたように感じていたとき、しかしその彼の言葉が確かに主イエスに届いていたことを示します。トマス自身が誰からも見捨てられ、暗闇の中にいるように感じていたときですら、主は確かにトマスを心に留めてくださったのでした。

自分自身への後悔から、仲間と合流できずにいたのかもしれない。

するとその間に、自分以外の弟子たちに、復活の主が現れた。他の弟子たちは「俺たちは主を見たぞ」と喜び、盛り上がっている。

「イエス様の手の釘跡とわき腹の傷を見、そこに触れてみなければ、わたしは決して信じない」…この言葉からは、トマスの懐疑と共に、信じる輪の中に入るの喜びから自分だけが弾き出されたトマスの強い孤独も感じられます。

しかし、そこに再び現れた復活の主イエスは、他の弟子たちと共にいる中を、トマスただひとりに向かって語りかけられます。「手を伸ばして、あなたが言っていたとおり、私の釘跡、わき腹の傷に触れてみなさい」という主の言葉には、

このときだけでなく、トマスが復活の主に出会う前、他の弟子たちから取り

大阪でのお泊まりは
ホテルザルター

ご予約は
ホテルザルター 検索

宗教改革五〇〇周年に向けて ルターの意義を 改めて考える(25)

ルター研究所所長

鈴木 浩

予定論はもととアウグスチヌスが初めて本格的に提示した教理であった。しかし、抜きがたい「運命論的響き」が理由になって、アウグスチヌスの死後一〇〇年経ったオランジュ教会会議で予定論は公式に断罪された。しかし、その後も急進的アウグスチヌス主義者が時々現れることになった。

アウグスチヌスには、もう一つ運命論的に響く教理があった。それが「原罪論」である。「人間は罪を犯さないことができない」とか「罪を

犯す必然性」といった強い表現が原罪論の特徴であった。その後の西方教会の歴史では、この二つが重荷になっていった。いわば負の遺産だったのである。しかし、予定論は公式に断罪され、原罪論は骨抜きにされた。ルターが見るところ、それが中世神学の特質であった。こうして、二本の教理的棘が抜かれた「穏健なアウグスチヌス」が正統的伝統として継承されていった。

そうした伝統の中で、一六世紀にひととき急進的なアウグスチヌス主義者が現れた。ルターとカルヴァンである。ルターは骨抜きにされていた原罪論を強化し、カルヴァンは沈黙させられてきた予定論を復活させた。それが宗教改革であった。

オルガン・コンサート

演奏 湯口 依子

5月25日(日)午後3時
市ヶ谷教会礼拝堂
前売券 3000円 当日券 3500円



への補助金を五年後にはゼロにするという発言でした。内海議長個人のかつ非公式の発言であったのですが、日本福音ルーテル教会の公式の自給宣言と国内外に受け止められて行ったので

議長発言の重さを活かして

時代が少しさかのぼりますが、日本福音ルーテル教会の歴史の中に「アスマラ宣言」と呼ばれるものがありました。エチオピアのアスマラで開催された日本伝道に関する協議会で、当時の総会議長であった内海季秋牧師が、海外からの一般会計

す。一九六九年四月のことでした。帰国後に議長報告を聞いた常議員会は戸惑いを覚えたことでしょう。しかし教会運営の海外依存からの脱却という方向性がここに定まったので

策上の方向転換へと導くことがあつたのです。二年前の議長就任以来二回、パートナリーシップを持つ海外教会からの招待を受け訪問する機会がありました。いずれも重

とではありません。失言や勇み足の類で教会にご迷惑をおかけすることもあつたでしょうから、不意な発言は戒めなければならぬと肝に銘じています。

もつとも、「アスマラ宣言」のような大転換は念頭にありませんが、議長としての益するのであれば、それを大いに活かして行きたいと思つています。

日本福音ルーテル教会にとつての分岐点となつたこの歴史的出来事は、議長発言の重さを象徴するものでした。議長の個人的、かつ非公式の発言が、結果として重要な政

要な政策を協議するための訪問ではありませんでした。アスマラ宣言の出来事をどこかに意識しながらの旅でした。議長個人の、非公式の発言は、海外訪問時だけ影響を及ぼすというこ

トではありませんが、失言や勇み足の類で教会にご迷惑をおかけすることもあつたでしょうから、不意な発言は戒めなければならぬと肝に銘じています。

テル教会の方向を決めて行く力にもなり得ると考へています。もちろん教会の方策を常議員会、総会の決議を経て決定して行く手順は踏み外してはいけません。そこで様々な情報を十分に把握し、その上で審議を尽くすことは現実に難しいのです。

あえて取り組み、苦悩しながら企画しました。グローバルディスカッションのテーマは「救いのイメージ」で「罪にならぬ罪人を見る目、救おうとする神、救いと新しい歩み」と展開してゆきます。

の恵みのみという点です。この世の価値観の直中に生きるティーンズ世代にとつて、それとは全く違う神さまの視点に心を向けるという作業は難しかったかもしれません。それゆえに、心にもやまやしたものが残つてしまふ部分もあつたでしょう。しかし、彼らがいま感じていること、感じ始めたことがこれからの信仰の歩みの糧となる、と私は確信し、嬉しく思つています。ポスターに描かれているように、私たちは大いなるお方の御手の内にどんな時もしっかりと包まれているからです。



ハンナ・ペンティエン 宣教師の紹介

1 ご自身について

私は、カルストラというフィンランド中部の5千人程の町の出身です。家族は両親の他、妹と弟二人がいます。専門は教会音楽で、ピアノ教師の資格もあります。シベリウス音楽大学を卒業後、いくつかの教会で教会音楽担当の職員をしていました。主としてオルガン奏者の仕事です。趣味は、読書、自然散策や旅行です。

今、市ヶ谷教会がオリエンテーション教会です。日本語は研修中なので、まだまだですが、同じルター派なので、礼拝ははいつていきやすかったです。

市ヶ谷教会の皆様は、私をとて暖かく愛をもつて受け入れて下さいました。フィンランドにあつても日本にあつても、教会とは、全世界の救い主であるイエス・キリストの福音を宣べ伝えるところだと思ひを新たにしています。

音楽は、天のみ神が教会に与えた賜物だと思ひます。讃美歌は神への祈りでもあり、信仰の大事な事柄を覚えてくれます。礼拝音楽は、耳で聞いた御言葉を心で深くくれます。音楽が専門なので、音楽を用いて教会に新しい人を招く伝道を希望しています。フィンランドでは子供を対象にした音楽の教会活動もしていたので、同じことが出来るん、教会のオルガン奏者の育成も出来ます。

私は、信仰ある家庭で育つたので、小さい時から祈りすることや、聖書を読むことや、教会に通うことは自然でした。私を今あるものに造られた天のみ神は、本当に私を愛して下さい、イエスを救い主と信じる信仰のゆえに私の全ての罪を赦して下さい。イエス様こそ、私たちが命へ導いて下さる唯一の方です。

彼こそが、私たちが困難にある時に世話をし、私たちの心に本当の平安を与えて下さいます。だから、彼のことをまだ知らない人たちに伝えたいのです。

最後にになりましたが、女性会連盟、ルーテル社団そして全国の教会の皆さまのご支援と祈りに心から感謝いたします。

2 日本の教会の印象は?

今、市ヶ谷教会がオリエンテーション教会です。日本語は研修中なので、まだまだですが、同じルター派なので、礼拝ははいつていきやすかったです。

市ヶ谷教会の皆様は、私をとて暖かく愛をもつて受け入れて下さいました。フィンランドにあつても日本にあつても、教会とは、全世界の救い主であるイエス・キリストの福音を宣べ伝えるところだと思ひを新たにしています。

市ヶ谷教会の皆様は、私をとて暖かく愛をもつて受け入れて下さいました。フィンランドにあつても日本にあつても、教会とは、全世界の救い主であるイエス・キリストの福音を宣べ伝えるところだと思ひを新たにしています。

市ヶ谷教会の皆様は、私をとて暖かく愛をもつて受け入れて下さいました。フィンランドにあつても日本にあつても、教会とは、全世界の救い主であるイエス・キリストの福音を宣べ伝えるところだと思ひを新たにしています。

市ヶ谷教会の皆様は、私をとて暖かく愛をもつて受け入れて下さいました。フィンランドにあつても日本にあつても、教会とは、全世界の救い主であるイエス・キリストの福音を宣べ伝えるところだと思ひを新たにしています。

市ヶ谷教会の皆様は、私をとて暖かく愛をもつて受け入れて下さいました。フィンランドにあつても日本にあつても、教会とは、全世界の救い主であるイエス・キリストの福音を宣べ伝えるところだと思ひを新たにしています。

市ヶ谷教会の皆様は、私をとて暖かく愛をもつて受け入れて下さいました。フィンランドにあつても日本にあつても、教会とは、全世界の救い主であるイエス・キリストの福音を宣べ伝えるところだと思ひを新たにしています。

3 将来自教師としてどんな働きをしたいですか?

音楽は、天のみ神が教会に与えた賜物だと思ひます。讃美歌は神への祈りでもあり、信仰の大事な事柄を覚えてくれます。礼拝音楽は、耳で聞いた御言葉を心で深くくれます。音楽が専門なので、音楽を用いて教会に新しい人を招く伝道を希望しています。フィンランドでは子供を対象にした音楽の教会活動もしていたので、同じことが出来るん、教会のオルガン奏者の育成も出来ます。

私は、信仰ある家庭で育つたので、小さい時から祈りすることや、聖書を読むことや、教会に通うことは自然でした。私を今あるものに造られた天のみ神は、本当に私を愛して下さい、イエスを救い主と信じる信仰のゆえに私の全ての罪を赦して下さい。イエス様こそ、私たちが命へ導いて下さる唯一の方です。

彼こそが、私たちが困難にある時に世話をし、私たちの心に本当の平安を与えて下さいます。だから、彼のことをまだ知らない人たちに伝えたいのです。

市ヶ谷教会の皆様は、私をとて暖かく愛をもつて受け入れて下さいました。フィンランドにあつても日本にあつても、教会とは、全世界の救い主であるイエス・キリストの福音を宣べ伝えるところだと思ひを新たにしています。

市ヶ谷教会の皆様は、私をとて暖かく愛をもつて受け入れて下さいました。フィンランドにあつても日本にあつても、教会とは、全世界の救い主であるイエス・キリストの福音を宣べ伝えるところだと思ひを新たにしています。

市ヶ谷教会の皆様は、私をとて暖かく愛をもつて受け入れて下さいました。フィンランドにあつても日本にあつても、教会とは、全世界の救い主であるイエス・キリストの福音を宣べ伝えるところだと思ひを新たにしています。

市ヶ谷教会の皆様は、私をとて暖かく愛をもつて受け入れて下さいました。フィンランドにあつても日本にあつても、教会とは、全世界の救い主であるイエス・キリストの福音を宣べ伝えるところだと思ひを新たにしています。



(吉村博明記)

春の全国ティーンズ キャンプ報告

チャプレン 岡田薫

3月26(水)〜28日(金)にかけて、「以神伝信(いしんでんしん)」と題して、もキミを愛してる」というテーマのもと千葉市少年自然の家にて第21回春の全国ティーンズキャンプが開催されました。

主題聖句である《あなたがたは、恵みにより、信仰によって救われまされた。このことは、自らの力によるのではなく、神の賜物です》(エフェソ2:8)を中心に、全国から集まった88名の参加者と33名のスタッフ、心と体と思いを尽くして信仰についての考察を深めました。

普段私たちは信仰生活の中で耳にしたり口にすることが多々あるわ

「イエスさま」「聖霊」「ゆるし」などの言葉について、言葉としては知っているても実際のところ、その意味するところが自分とのかかわりについてじっくり考えることは少ない、あるいは、なんとなくわかつたつもり、知っているつもりで過ごしているのではないのでしょうか。今回キャンプ実行委員会はその部分に

あえて取り組み、苦悩しながら企画しました。グローバルディスカッションのテーマは「救いのイメージ」で「罪にならぬ罪人を見る目、救おうとする神、救いと新しい歩み」と展開してゆきます。

プログラムが進行するにしたがつて、12のグループの足並みにもばらつきが生じ、人生経験の少ない若年層にとつては特に難しさもあつたようですが、二日目の晩に行われた参加者の堅信の証しなどを通して、それぞれの心に得るものがあつたようです。後日、報告書が発行されますので、皆さんもぜひご覧ください。

信仰というテーマには明確な答えがあるわけであり、今回のプログラムで考えたことは、信仰とは私たちの努力や行いによるのではなく、神さま

の恵みのみという点です。この世の価値観の直中に生きるティーンズ世代にとつて、それとは全く違う神さまの視点に心を向けるという作業は難しかったかもしれません。それゆえに、心にもやまやしたものが残つてしまふ部分もあつたでしょう。しかし、彼らがいま感じていること、感じ始めたことがこれからの信仰の歩みの糧となる、と私は確信し、嬉しく思つています。ポスターに描かれているように、私たちは大いなるお方の御手の内にどんな時もしっかりと包まれているからです。



最後にになりましたが、女性会連盟、ルーテル社団そして全国の教会の皆さまのご支援と祈りに心から感謝いたします。

礼拝式文の改訂



式文委員会委員長 平岡仁子

！洗礼と洗礼盤

私の手元に1冊の小さな本があります。「古代から現代へ、洗礼盤を巡って」、著者はアニタ・スタウファー牧師（ELCA、LWF神学研究部門・2007年召天）。フィラデルフィアルテ



を検証しようとしたものでした。聖書には洗礼をイメージする表現が重層的に現れます。ロマ書6章3節〜6節では誕生・新しい命、死・葬りをヨハネ3章5節では水と霊による誕生をもたらす洗礼は子宮をイメージさせます。洗礼は誕生であり、そして洗礼盤は子宮のようです。ロマ書6章3節〜5節でパウロは洗礼に死と復活をイメージさせます。コリント6章11節やペトロ1章9節は罪の洗い・清めを、またペトロ13章20節では水の中を通過して救われることをイメージさせます。そしてこれら聖書から与えられるイメージは洗礼に関わる儀式の中で祈られる祈りの言葉に映し出されてきました。

「箱舟によって、あなたが選ばれたノアとその家族を救われ、再び人間を滅ぼさない」と約束されました。あなたは雲と火の柱によってイスラエルの民を海の中で導き守り、…あなたの愛するみ子はご自身の死と復活の洗礼によって、私たちを罪と死のなわめから解放し、…聖霊の力によって、私たちをあらゆる罪から清め、私たちに新しい命を賜り、私たちが日ごとに、私たちの洗礼の恵みを経験できるように導いてください。」（イースターヴィジルの洗礼感謝の祈り）

そしてこのイメージはまた、洗礼の形式を作り出しました。下ること（死）と上ること（復活）、そして水を通りぬけること（救い）——洗礼におけるこの3つの動作は、洗礼の意味を不象徴的な行為となったのです。そしてその行為は洗礼盤そのものに反映されていくことになるのです。

20世紀の典礼刷新運動の流れの中で世界のキリスト教会は、改革の柱の一つである洗礼の儀式そのものが持つ豊かさ、もう一度回復させようという思いが、この世界の動向を受けています。正確には、物語が「語られ」ているので、物語はイエスさまとの出会いであり、その出会いの物語が語り伝えられているのです。聖書だけでなく、聖書を読むわたしたちにも、物語は起



BOOK REVIEW
石田順朗著 『神の元気を取り次ぐ教会』の編集の手伝いをして 森 優

聖書は、物語でつづられています。正確には、物語が「語られ」ているので、物語はイエスさまとの出会いであり、その出会いの物語が語り伝えられているのです。聖書だけでなく、聖書を読むわたしたちにも、物語は起

こります。本書は、教会の物語と石田順朗先生の物語です。仏門の家庭に育ち、疎開先でキリスト教に出会い、さらに稀有の説教者に出会って、自分も説教者を目指す。胸が躍るような物語です。その物語を、ご自分で「語り」をしてくださったものです。それにしても、感涙にむせぶほどの説教の力。ここから、石田先生は、本書の中で「説教作法」を説きます。説教者だけでなく、説教を聞く会衆にも向けられた、神の力、神のエネルギー、すなわち「神の元気」

を受けようという圧倒的な気迫に満ちたものです。手伝いをして、編集の手伝いというのは、膨大な原稿を、人々が買い求めやすい定価を設定し、その際のページ数に圧縮する作業です。本書の場合、多くの教会での説教がそのまま採録されていたものを、説教体を文章体にする。文体は著者の人格なので、傷つけないうようにする。用語の統一以上の精神の集中がいります。

「神の元気を取り次ぐ教会」、定価1200円。お求めはファックスにてリトン社へ。ファックス番号03-3333-7638。

け、改訂式文試案では各教会の洗礼盤にその意味を明確にする確かな場所を与えることを試みました。

保合教会では今年洗礼盤が完成しました。（写真！）日本を代表する陶芸家のお一人吉川正道氏が製作してくださいました。依頼する際、吉川正道氏にこの本に掲載されている紀元後4〜5世紀の古い洗礼盤の写真（写真！）をお見せしました。すると吉川氏は写真を見るなりうなづいて、叫ばれたのです。「すごい！洗礼は命そのもの。ここに命が躍動している！」

今年で21回目となる「春の全国ティーンズキャンプ」、会場は広大な丘陵地帯にあり、施設周辺の木々や芝生はちょうど芽吹き時期で、今にもはじけそうでした。そんな早春を思わせる光景は、全国から集まったティーンズの秘めたるエネルギーとたぶつて感じられました。

今回のテーマは、「以神伝信くそれでもキミを愛してる」。その意図するところは、「神様によって信仰は伝えられる」と言うことで、信仰は神様からの恵み、愛の賜物であって、人間のわざ、人間が造り出すものではないということ。そして、神様が与えてくださった信仰を、賜物、プレゼントとして、感謝して、喜んで、そして、遠慮せず、恐れずにいただこうということ。スタツフは「手を変え、品を変え」ではありませんが、工夫して、苦勞して伝えようとしています。そのための準備、打ち合わせにかけた時間は半端なものではないと思いを

ました。さらにキャンプ本番では、絶えざる軌道修正と臨機応変の微調整が必要になることは避けがたいわけですが、チームとしてまことに連携良く、見事にはまっています。キャンプ、スタツフ合わせて120名からの大人数、大所帯でしたが、統率がとれて、まとまりのあるキャンプとして遂行されるのは、スタツフが心を一つに、がっちりスクラムを組んでいたからでしょう。彼らは常に情熱的、精力的でした。それは、次代を担うティーンズへの愛であり、期待であろうと思えます。その中心にチャプレンがおり、そしてディレクター、賛美リーダーがいて、さらにはリーダーに、直接向き合うグループリーダーがいるのです。このリーダーの多くは「春キャン」卒業生と言いますが、中高生の時代に自ら参加していた人たちです。信仰が継承され、その歴史が作られつつあるのです。



キャンプ長 徳野昌博

【2014年度 日本福音ルーテル教会 会議日程表】

Table with columns: 月, 日, 曜, 時間, 会議名, 場所. It lists various church meetings and conferences from April to May 2014 and January to May 2015.

※「事務処理委員会」は、教会規則に基づき、処理すべき事項が発生した時に、随時、開催とする。

「豪快さと繊細さ」

山本 裕



戸田裕牧師・追悼
『あなたに向って両手を
広げ、乾いた大地のよう
な私の魂を、あなたに向
けます』詩編143・6

2014年3月18日、戸田裕牧師が、天に召されたとの連絡を受けました。私が名古屋の病院に訪問したのが、10日位前でした。戸田先生と呼びかけても深く眠っていました。

奥様が耳元で『山本裕先生がいらいらっしやいましたよ』と…。その時、少し、口元が動いたようでした。しかし、彼に会ったのが、これが最後でした。

食を一緒にして、教会の一室で、夜を徹して語りました。彼らの間に熱いものがありました。その彼らが今、各教会の中核となつています。

東地域教師会 「春の研修会」

大岡山教会 松岡俊一郎

去る3月10日(月)、東地域教師会「春の研修会」が東京教会を会場に開催されました。ご案内が遅かったにもかかわらず、18名の牧師たちが参加しました。

今年引退教師の石田順朗牧師を迎え、「感謝のみ、教会生活還暦を迎えよう」と題してお話を伺いました。

先生は長い牧会での経験と学び、ルーテル世界連盟神学研究局長、シカゴ・ルーテル神学大学院、日本ルーテル神学校、九州ルーテル学院での奉職の経験から生み出された多岐にわたる神学的課題を、ルーテル教会の五つの「聖書のみ、信仰のみ、恵みのみ、キリストのみ、神にのみ栄光」に「感謝のみを加え、整えて語られました。これは、先生が最近著された著書「神の元氣を取り次ぐ教会(LITHON、12000円+税)に基づくものです。石田先生のお話は、説教、地域会衆、教会暦と聖書日課、律法と福音をについて語られ、特に各個教会について「教会は、現

【2014年教区総会選出常議員】

Table with columns: 北海道, 東, 東海, 西, 九州. It lists the names of members elected to the 2014 regional general assembly in various regions.

実的には『そこに集合し、室を土の器に納めていま根付き、開かれた』地域教会であるとの主張を強調され、最後には、「有限は、有限のままで、無限を体現する」とのルター神学に触れるためである。コリントは各人、あくまで有限(土の器のままで、無限化全知万能化)するのではなく、神の言葉(聖書)にとりつかれ、罪ゆるされ、義人となり、全能の神の御恵みと御恩寵が「いま、ここで」わが身に充溢し体現されるようになる。それは「わたくしは、このようないい、笑いあいました」

研修会後は、近所の韓国料理店で親睦の時をもちました。日頃は散らされて教会に取り組んでいる牧師たちが、おいしい料理に舌鼓を打ちながら語り合